筑波大学 グローバルコミュニケーション教育センター（CEGLOC）
日本語学習環境支援共同利用拠点（J-SHARE）主催

学びをひらく、支援をつなぐ ― 研究と実践から考える日本語学習環境 ―

「ことば」の学びに寄り添う日本語教育
―学習と人生のつながりを考える―

登壇者



山内 薫 先生

江戸川大学国際交流センター准教授。博士（日本語教育学）。主著に『「ことば」の学びに寄り添う日本語教育―「学習と人生のつながりの軸」の形成と意識化をめざして―』（くろしお出版）、「日仏国際家族環境を背景に持つ日本語専攻修了生の「移動」の経験と意味づけ」（『移動とことば』くろしお出版）など。

発表要旨

日本語を学ぶ意味は、将来そのことばを使えるかどうかだけで決まるのでしょうか。本講演では、学習者の背景や語り、教育実践を手がかりに、言語能力や目標達成だけでは捉えきれない、変化・中断・移動を含む学習経験を、学習者自身が生活や人生の中でどのように意味づけ、意味づけ直していくのかを考えます。さらに、日本語教育を「生涯にわたる言語学習」の支援として捉え、学びと人生のつながりを見いだせる学習環境について、参加者の皆さんと考えます。

日時・場所

日付：2027 年 2 月 12 日（金）
時間：14:00 ～ 16:00
場所：オンライン（ZOOM）
参加費：無料

参加登録はこちらから
（Google Form が開きます）

日本語学習環境支援共同利用拠点
Japanese Language Support Hub for Accessible Resources and Education

WEB https://www.intersc.tsukuba.ac.jp/~kyoten/
メール jp-kyoten@un.tsukuba.ac.jp